

# 2023年3月期 第3四半期 決算の概要

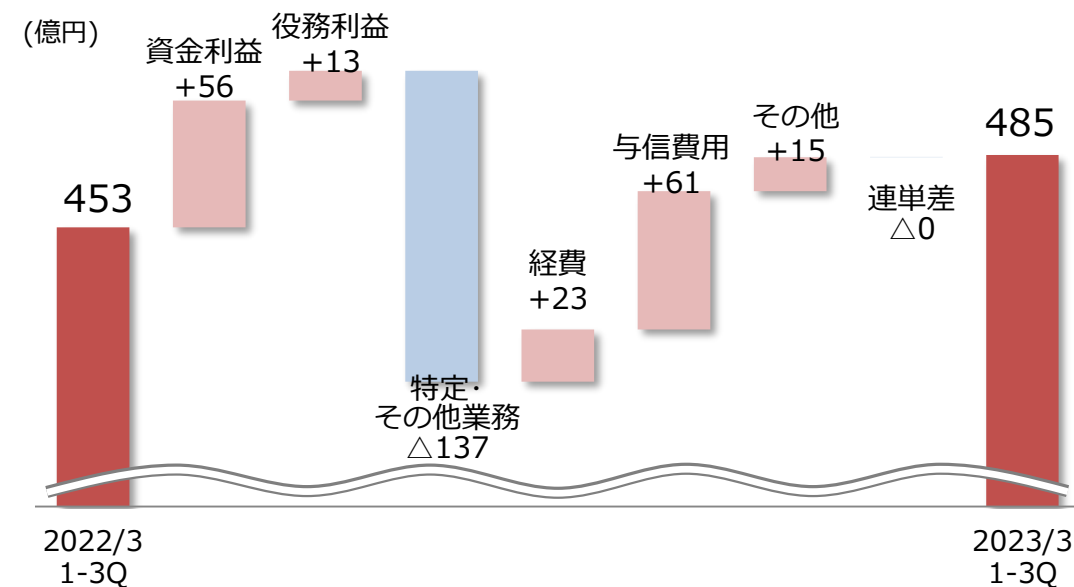


## 業績概要

単体	(億円)	2022/3	2023/3	前年同期比
		1-3Q	1-3Q	
業務粗利益		1,248	1,180	△ 67
資金利益		1,019	1,075	56
役務取引等利益		195	208	13
特定取引利益		8	10	1
その他業務利益		24	△ 114	△ 138
うち債券関係損益		8	△ 160	△ 168
経費 (△)		637	613	△ 23
実質業務純益		611	566	△ 44
コア業務純益		602	726	124
除く投資信託解約損益		570	669	98
一般貸倒引当金純繰入額 (△)		3	-	△ 3
業務純益		607	566	△ 40
臨時損益		13	101	88
うち不良債権処理額 (△)		23	△ 33	△ 57
うち貸倒引当金戻入益		-	20	20
うち株式等関係損益		24	62	38
経常利益		620	668	48
特別損益		△ 0	△ 1	△ 0
四半期純利益		448	480	32
与信関係費用 (△)		27	△ 33	△ 61
連結	(億円)	2022/3	2023/3	前年同期比
		1-3Q	1-3Q	
連結経常利益		650	698	48
親会社株主に帰属する四半期純利益		453	485	31

- ◆ 資金利益が前年同期比+56億円と好調であった一方で、外債のポートフォリオ入替等により債券関係損益が同△168億円と大きく減少したことから、業務粗利益は同△67億円と減益
- ◆ コア業務純益は同+124億円と、2008年度以来14年ぶりに第3四半期決算として過去最高を更新しており、本業は好調を維持
- ◆ 与信関係費用は同△61億円と大きく減少
- ◆ 四半期純利益は第3四半期決算として、単体・連結ともに過去最高を更新しており、通期計画に対する進捗は単体84.3%、連結80.8%と順調に推移

## 親会社株主に帰属する四半期純利益の増減要因 (単体+連単差)



## 業績概要（連結）

連結	(億円)	2022/3	2023/3	前年同期比
		1-3Q	1-3Q	
連結粗利益		1,320	1,236	△ 84
資金利益		982	1,037	55
役務取引等利益		279	297	18
特定取引利益		35	16	△ 19
その他業務利益		23	△ 114	△ 138
営業経費（△）		685	660	△ 24
与信関係費用（△）		33	△ 39	△ 72
一般貸倒引当金純繰入額（△）		4	-	△ 4
不良債権処理額（△）		28	△ 39	△ 67
株式等関係損益		23	66	42
持分法投資損益		0	0	△ 0
その他		23	17	△ 6
経常利益		650	698	48
特別損益		△ 1	△ 1	△ 0
税金等調整前四半期純利益		649	697	48
法人税等合計（△）		195	212	16
四半期純利益		453	485	31
非支配株主に帰属する四半期純利益		-	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益		453	485	31
(参考)				
連結業務純益		675	624	△ 50

## 子会社の状況

※連結決算用に組替後のPL表示

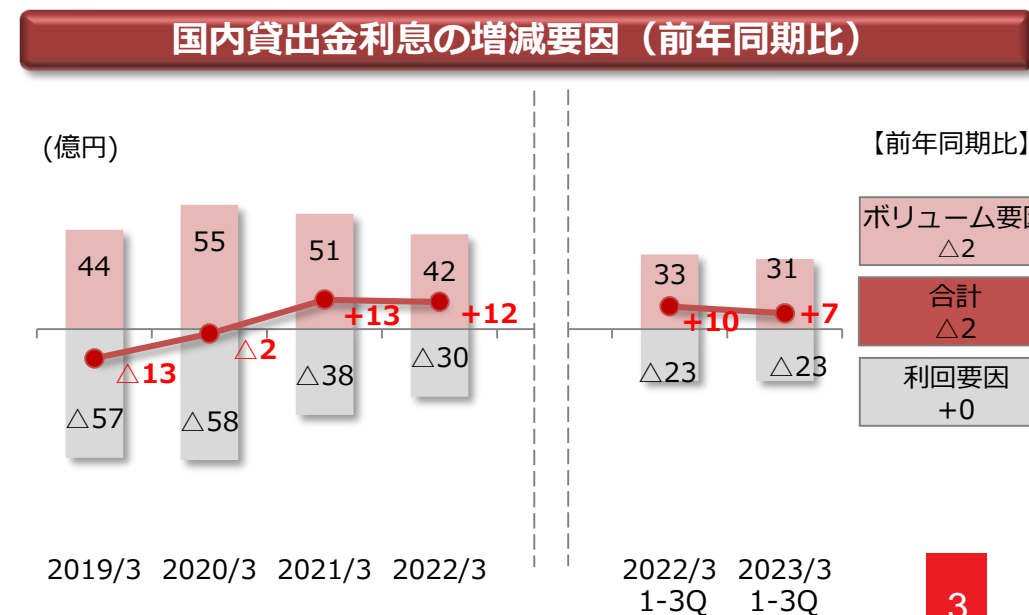
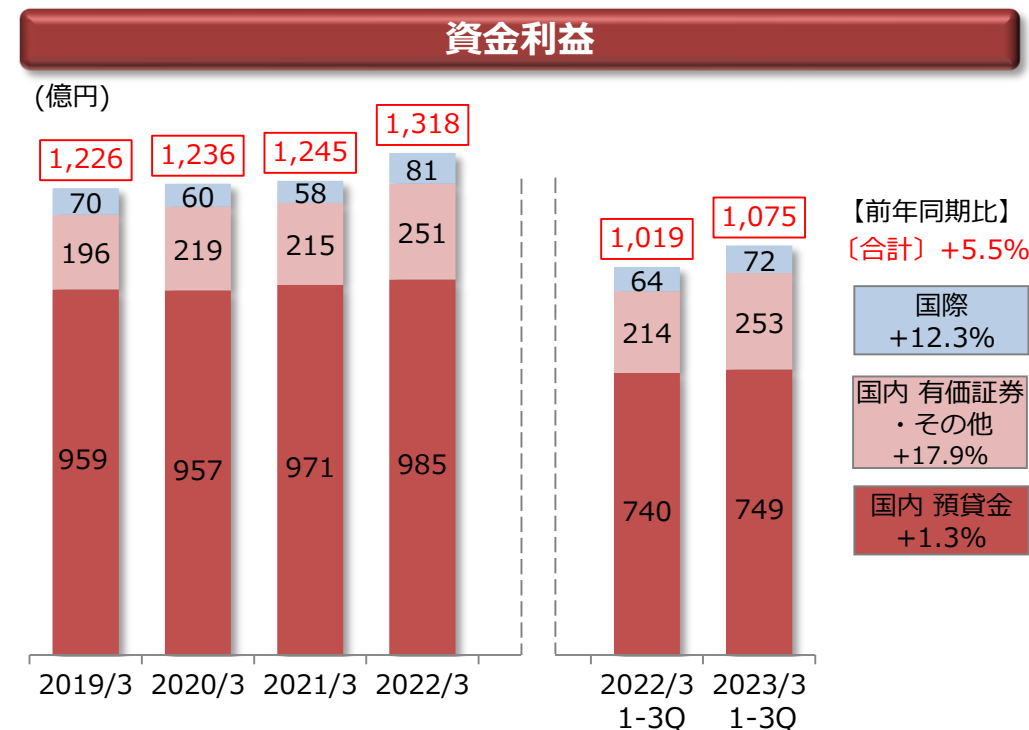
【連結子会社】		(億円)			
会社名	出資割合 (間接含む)	利益項目 (子会社間配当控除後)	2022/3 1-3Q	2023/3 1-3Q	前年同期比
ちばぎん証券	100%	経常利益	12	0	△ 11
		四半期純利益	8	0	△ 8
ちばぎんリース	100%	経常利益	6	8	1
		四半期純利益	4	5	0
ちばぎん保証	100%	経常利益	39	49	10
		四半期純利益	25	32	6
ちばぎん ジェーシービーカード	100%	経常利益	7	8	0
		四半期純利益	5	5	0
その他5社 合計	100%	経常利益	5	5	0
		四半期純利益	3	3	0
合計		経常利益	72	73	1
		四半期純利益	47	48	0

【持分法子会社】				
6社 合計	持分法に応じた 四半期純利益	0	0	△ 0
	親会社への配当(△)	42	44	1
	連単差 ※	5	4	△ 0

※未実現利益等の調整後

## 資金利益

	(億円)		前年同期比
	2022/3 1-3Q	2023/3 1-3Q	
資金利益	1,019	1,075	56
国内資金利益	954	1,003	48
預貸金利息	740	749	9
貸出金	744	752	7
預金+NCD (△)	4	2	△1
有価証券利息配当金	195	231	36
債券	19	30	11
株式配当金	94	109	15
投資事業組合	5	6	0
投信	75	84	9
うち解約益	27	40	12
その他 (市場運用調達等)	19	22	2
国際資金利益	64	72	7
貸出金	30	85	54
外国証券	95	142	46
外国証券	63	102	39
外貨ファンド	25	20	△5
投信	6	19	12
うち解約益	5	17	12
その他 (調達、市場運用等)	△61	△154	△93
資金利益 (除く投信解約益)	987	1,018	30
投信解約益	32	57	25

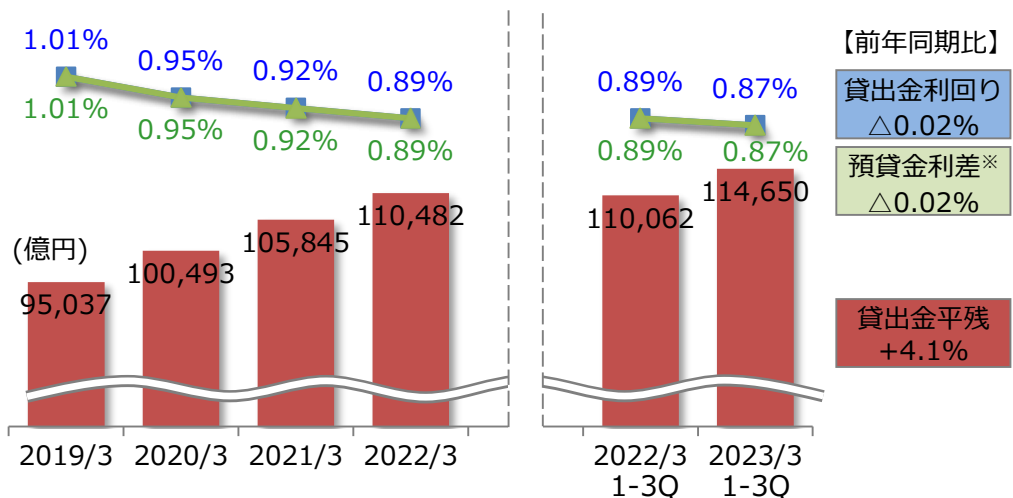


# 利回り・貸出金利息

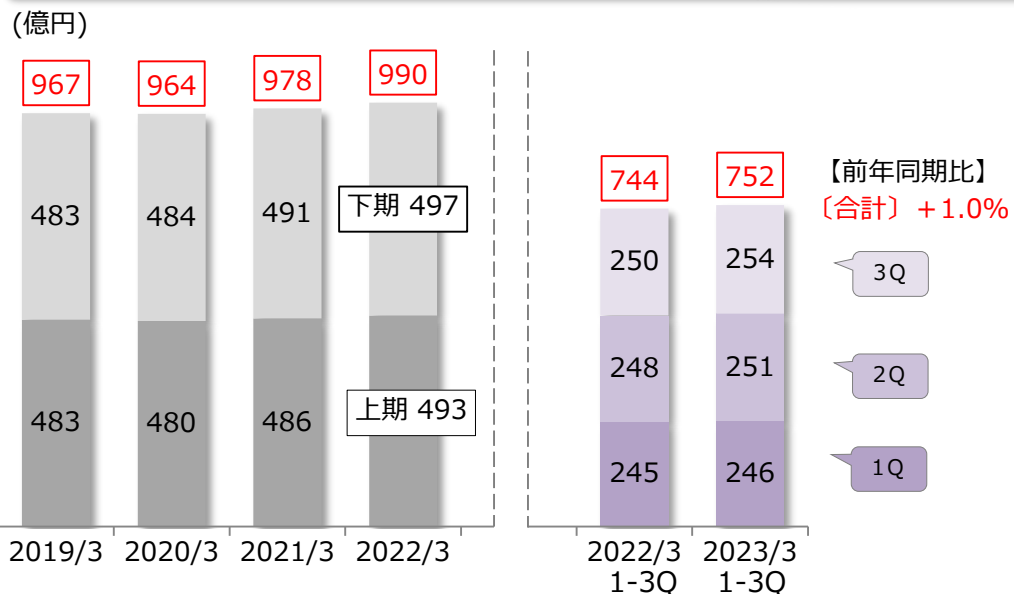
## 国内業務部門

### 貸出金平残・利回り、預貸金利差

※①貸出金利回り・②預金利回り(NCD含む)ともに小数点第2位未満切捨て、  
預貸金利差は①②ともに小数点第2位未満切捨て後の数値を差引し算出

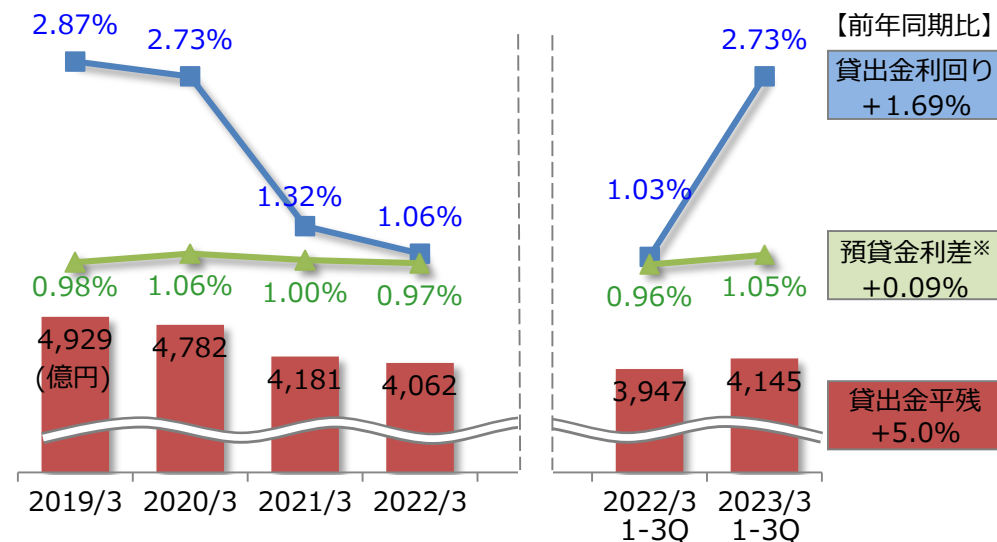


### 貸出金利息

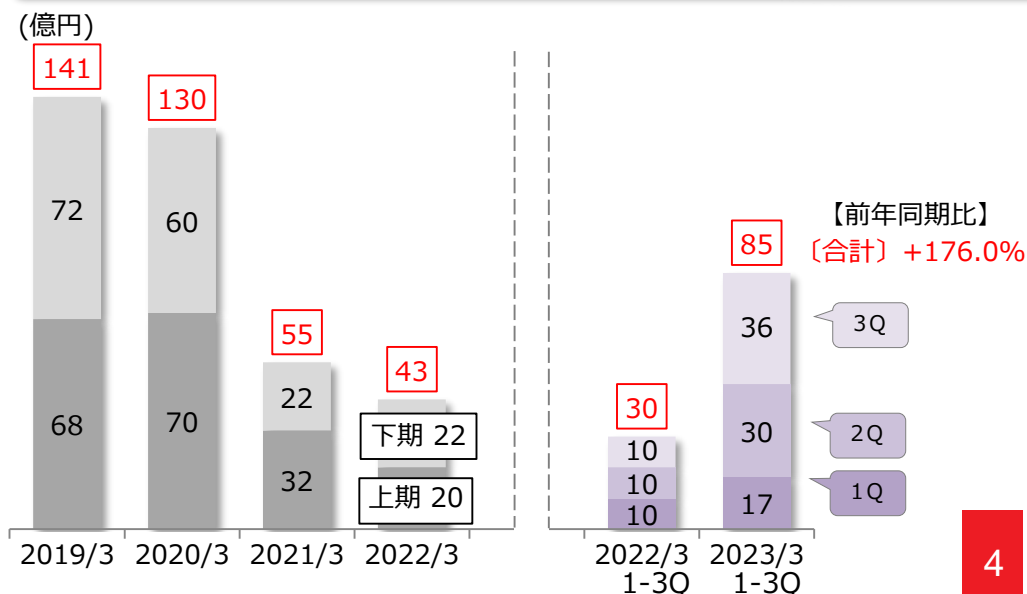


## 国際業務部門

### 貸出金平残・利回り、預貸金利差

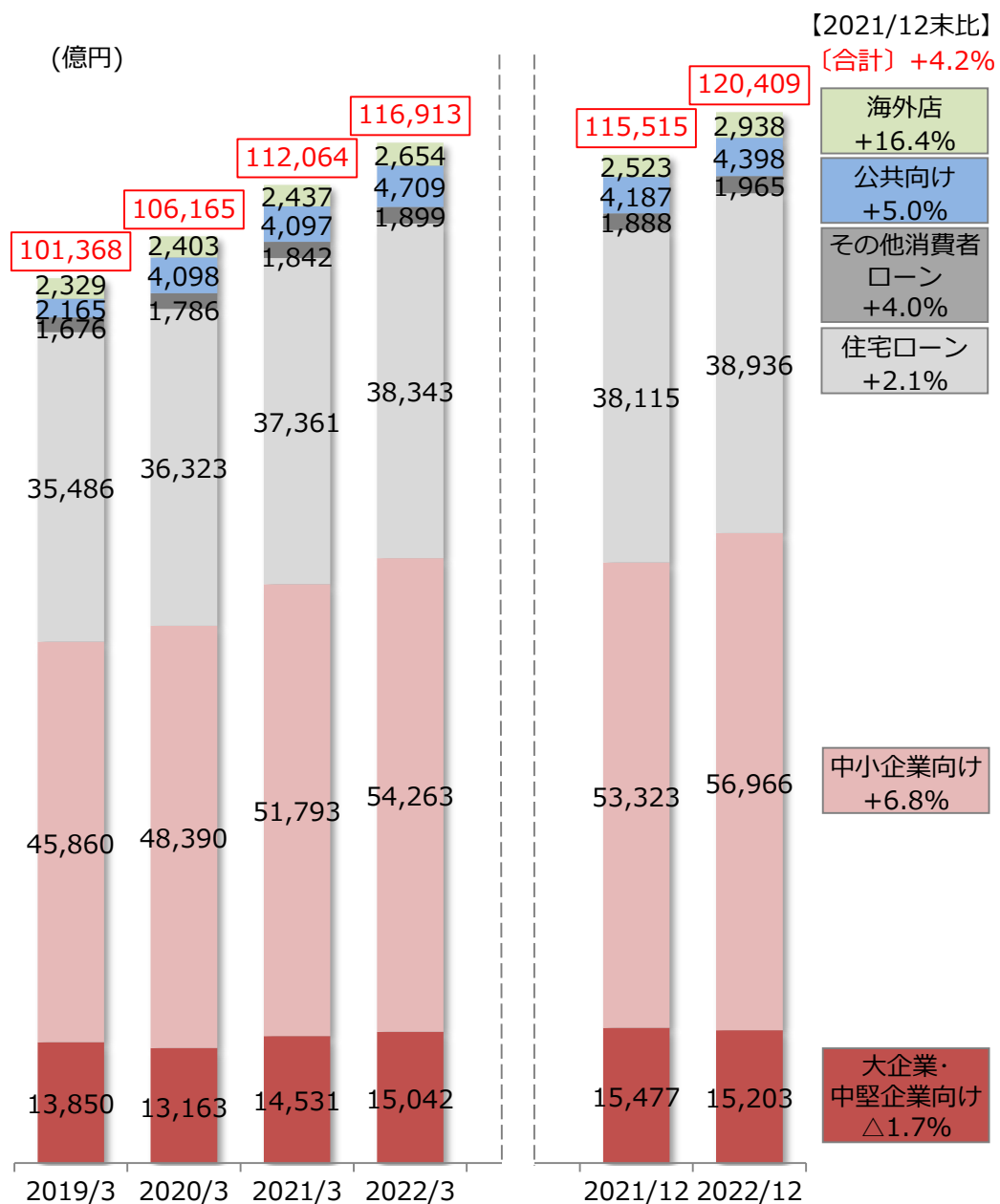


### 貸出金利息

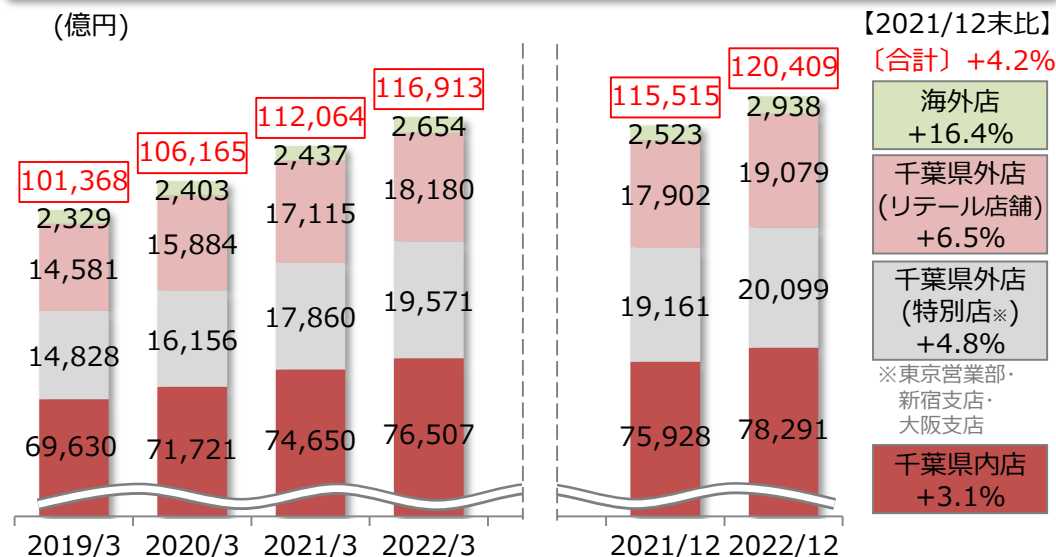


# 貸出金・預金

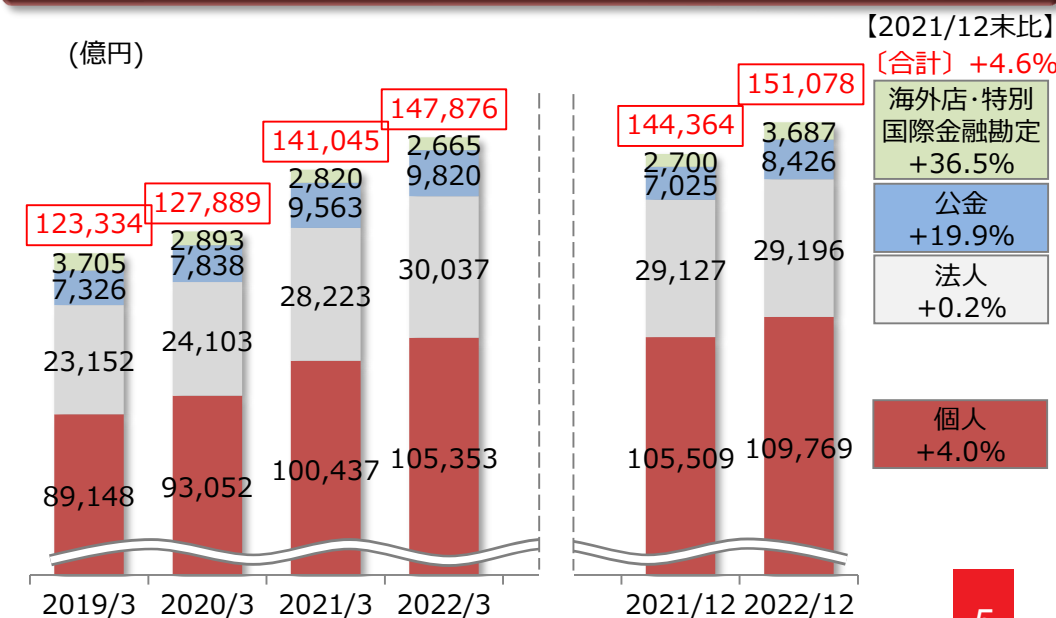
## 貸出金末残



## 貸出金末残 (エリア別)



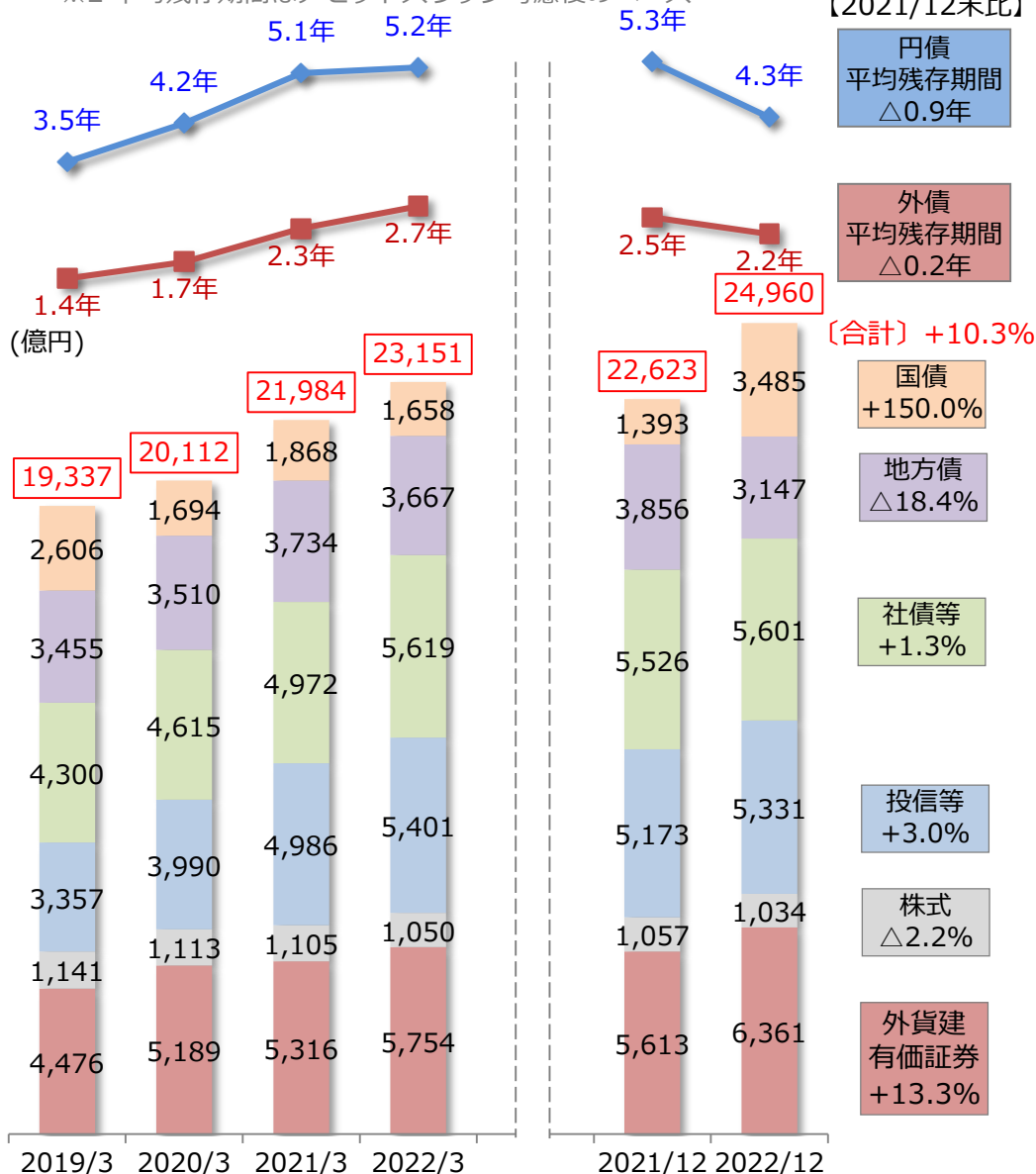
## 預金末残



# 有価証券

## 有価証券末残※1・平均残存期間※2

※2 平均残存期間はアセットスワップ考慮後のベース

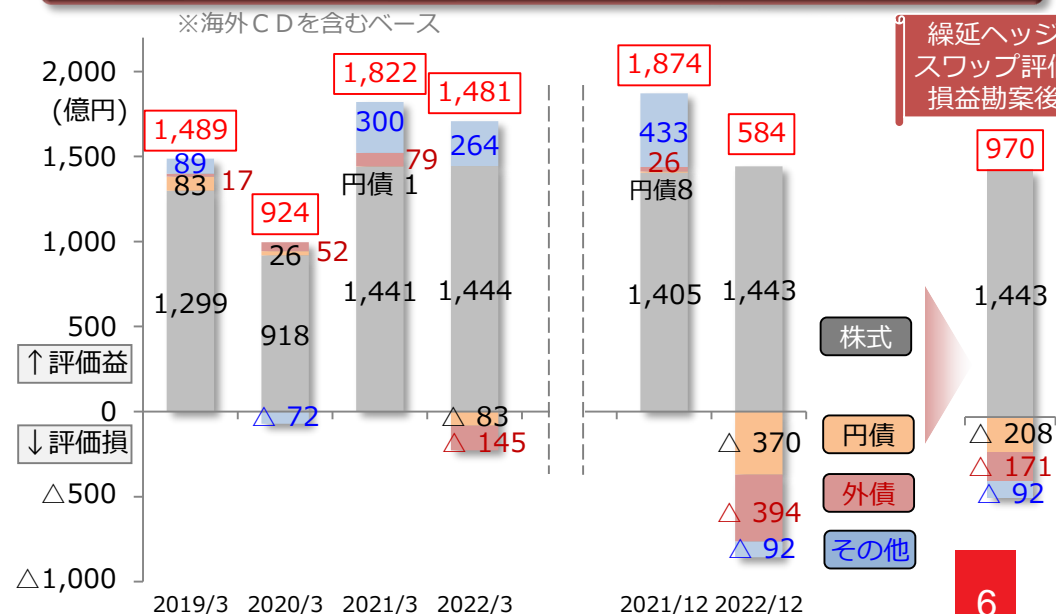


※1 末残は評価損益を除くベース

## 有価証券関連損益

(億円)	2022/3 1-3Q	2023/3 1-3Q	前年同期比
有価証券利息	290	373	82
債券	82	132	50
国内業務部門	19	30	11
国際業務部門	63	102	39
株式	94	109	15
投信等	113	130	16
うち投信解約損益	32	57	25
国債等債券損益	8	$\Delta 160$	$\Delta 168$
うち売却益	15	22	7
株式等関係損益	24	62	38
うち売却益	50	63	13

## その他有価証券評価損益



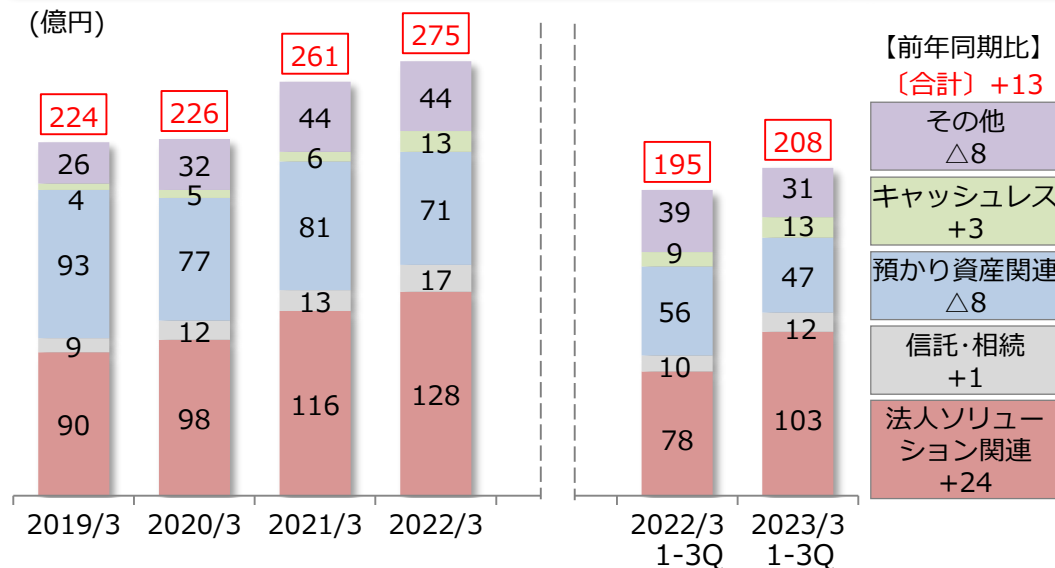
## 役務取引

	(億円)		前年同期比
	2022/3 1-3Q	2023/3 1-3Q	
役務取引等利益	195	208	13
役務取引等収益	331	354	23
役務取引等費用 (△)	136	146	10
＜主な内訳＞			
うち預かり資産関連	56	47	△ 8
うち投信手数料	30	20	△ 10
うち年金・一時払終身保険手数料	9	14	5
うち平準払保険手数料	10	8	△ 1
うち金融商品仲介手数料	5	2	△ 2
うち法人ソリューション関連	78	103	24
うち私募債	3	2	△ 0
うちシ・ローン等	60	83	23
うちM&A・アドバイザリー手数料	6	7	1
うちビジネスマッチング手数料	8	9	0
うち信託・相続関連	10	12	1
うちキャッシュレス関連	9	13	3
うち為替関連	95	94	△ 1
うちローン支払保険料・保証料 (△)	84	92	7

※ 2022/3月期通期決算以降、信託・相続には信託報酬を含む (過去に遡って変更)

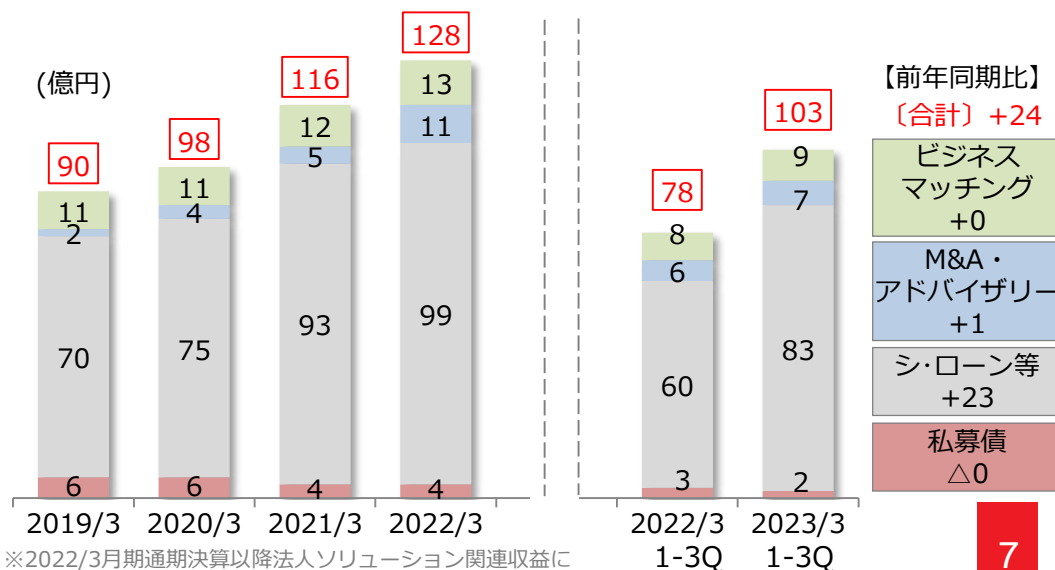
## 役務取引等利益

(億円)



## 法人ソリューション関連収益

(億円)

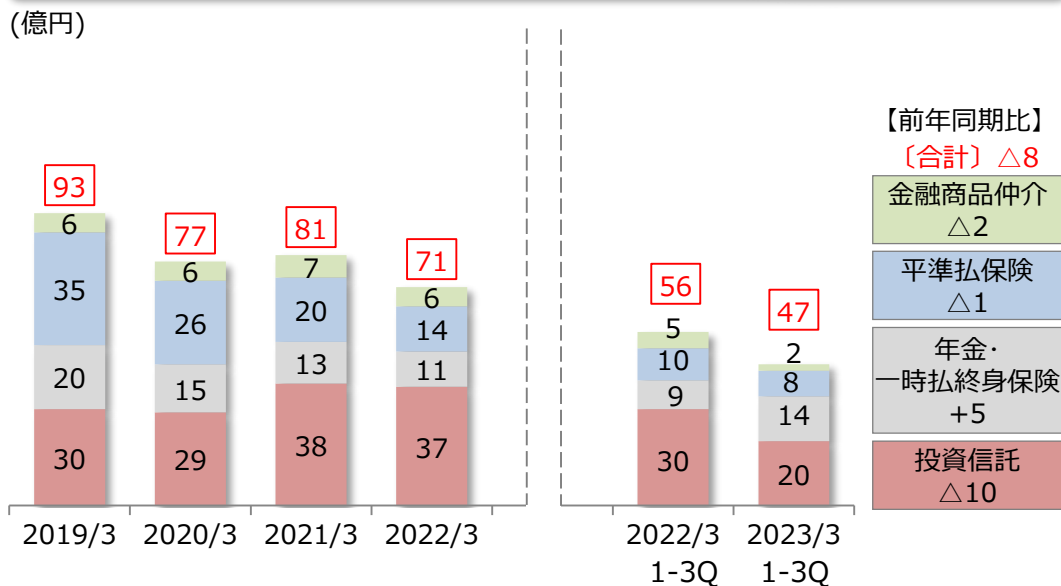


※2022/3月期通期決算以降法人ソリューション関連収益に法人ポータル収益を含めず (過去に遡って変更)

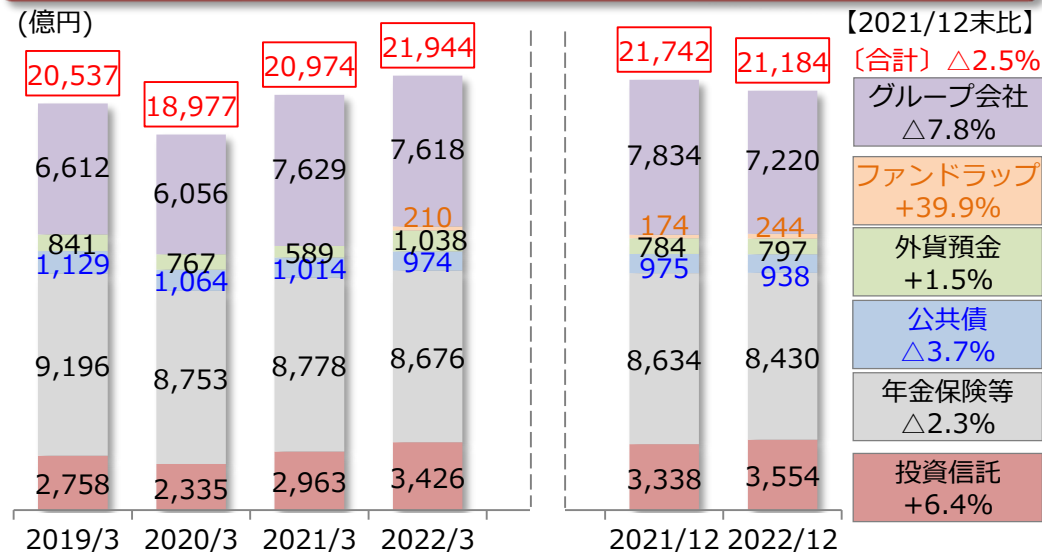


# 預かり資産

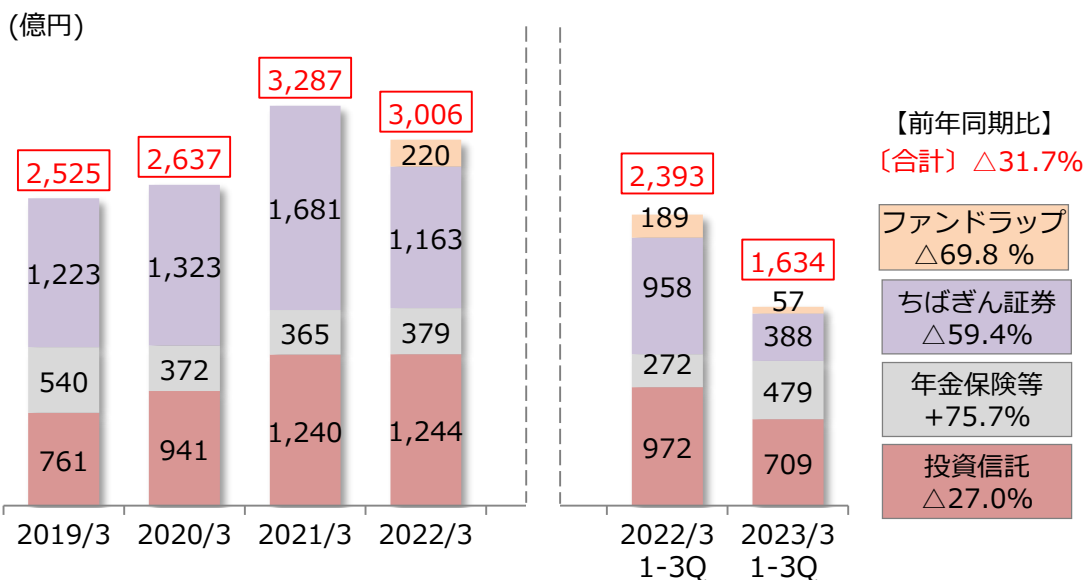
## 預かり資産関連収益



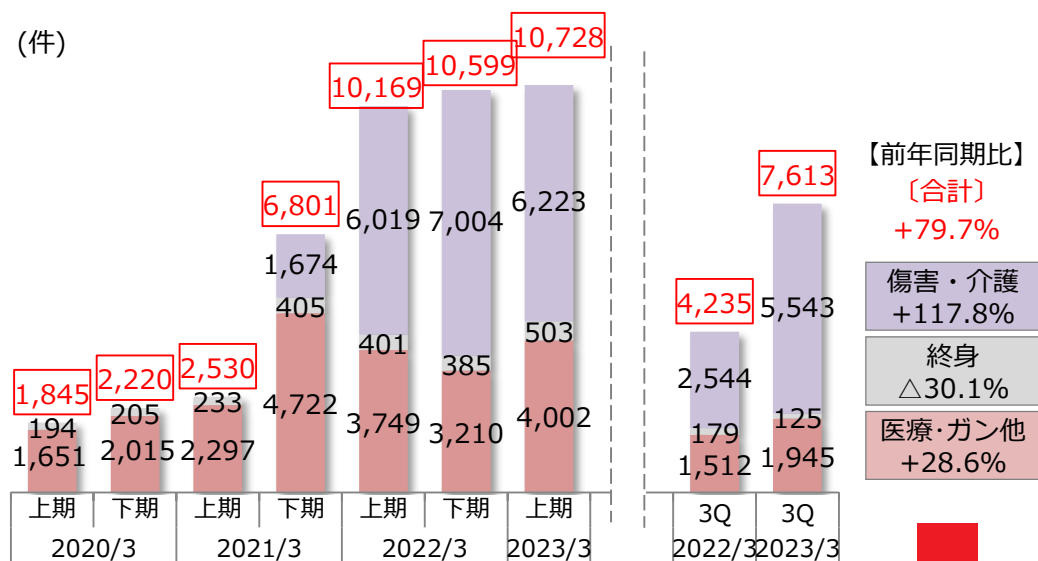
## 預かり資産残高（グループ合計）



## 預かり資産販売額（グループ合計）



## 保障性保険 取扱件数



※受付ベースの件数

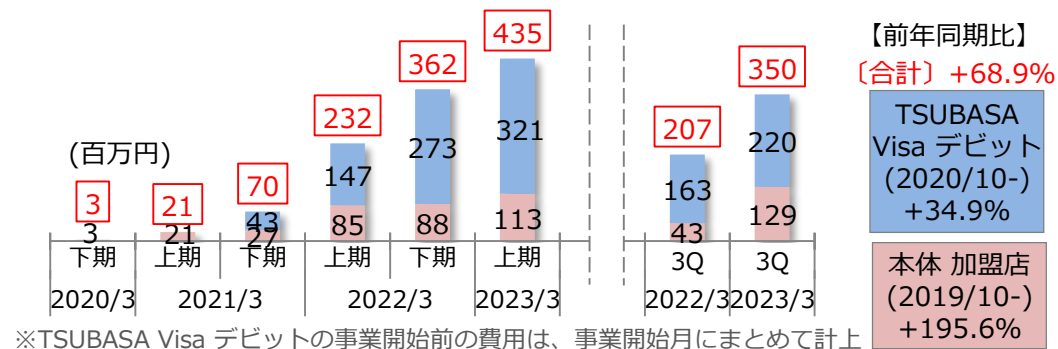
# キャッシュレス

## キャッシュレス事業収支

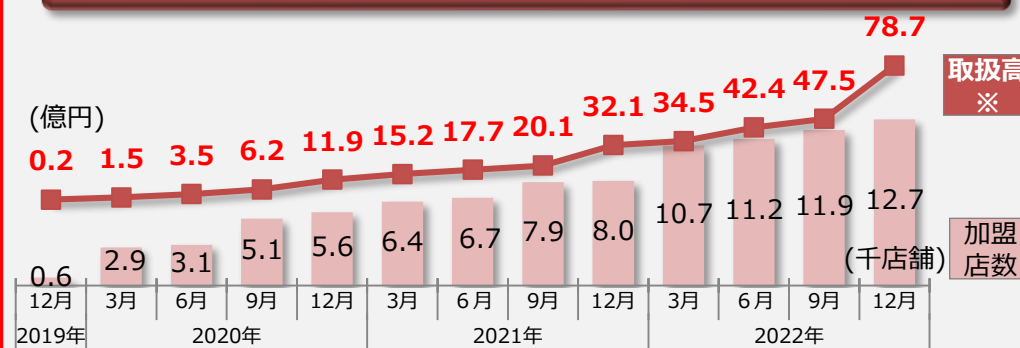
		2022/3	2023/3	
(百万円)		1-3Q	1-3Q	前年同期比
本体事業 合計	利益	965	1,346	381
	収益	2,436	3,411	974
	費用(△)	1,471	2,064	593
本体 新規事業 合計	利益	439	785	345
	収益	850	1,780	930
	費用(△)	410	995	584
本体 加盟店	利益	129	243	114
	収益	495	1,127	631
	費用(△)	366	883	516
TSUBASA Visa デビット	利益	310	542	231
	収益	354	653	299
	費用(△)	43	111	67
本体 既存カード 事業	利益	525	560	35
	収益	1,586	1,630	44
	費用(△)	1,060	1,069	8
関連会社 (ちばぎんJCB) (ちばぎんDC)	利益	875	985	109
	収益	3,640	3,921	280
	費用(△)	2,764	2,935	170
(参考)				
グループ 合計	利益	1,841	2,331	490
	収益	6,077	7,332	1,255
	費用(△)	4,236	5,000	764

※関連会社の費用には、人件費等の営業費用も含めて記載

## 本体新規事業 利益 半期推移



## 本体加盟店事業 加盟店数・取扱高



## TSUBASA Visa デビット 会員数・取扱高



※取扱高：該当月における1カ月間の決済額

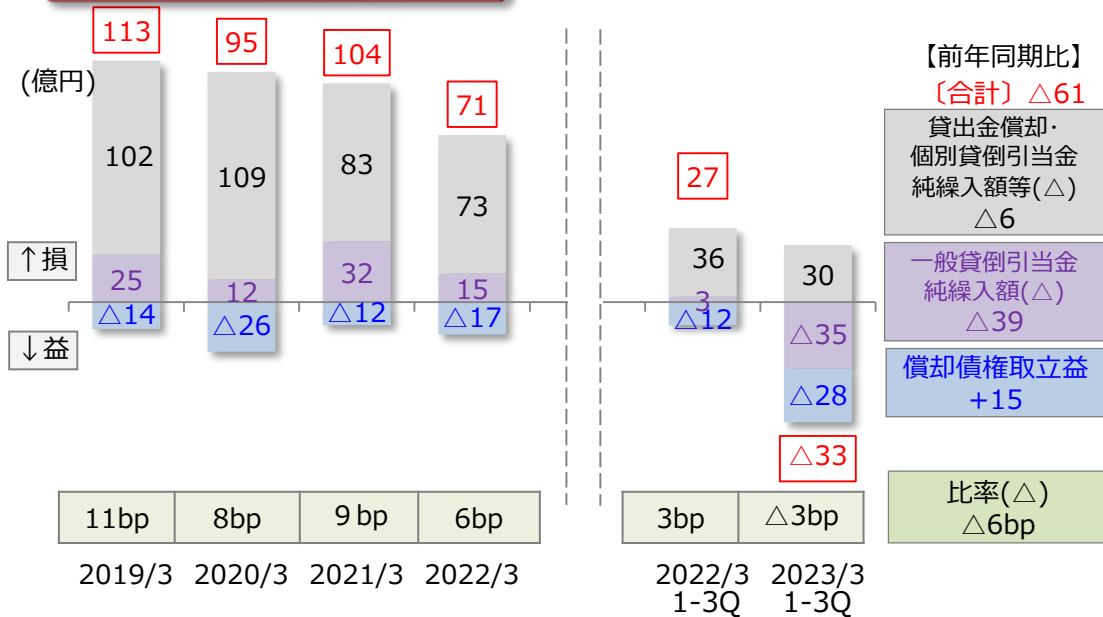
# 与信関係費用・金融再生法開示債権

## 与信関係費用

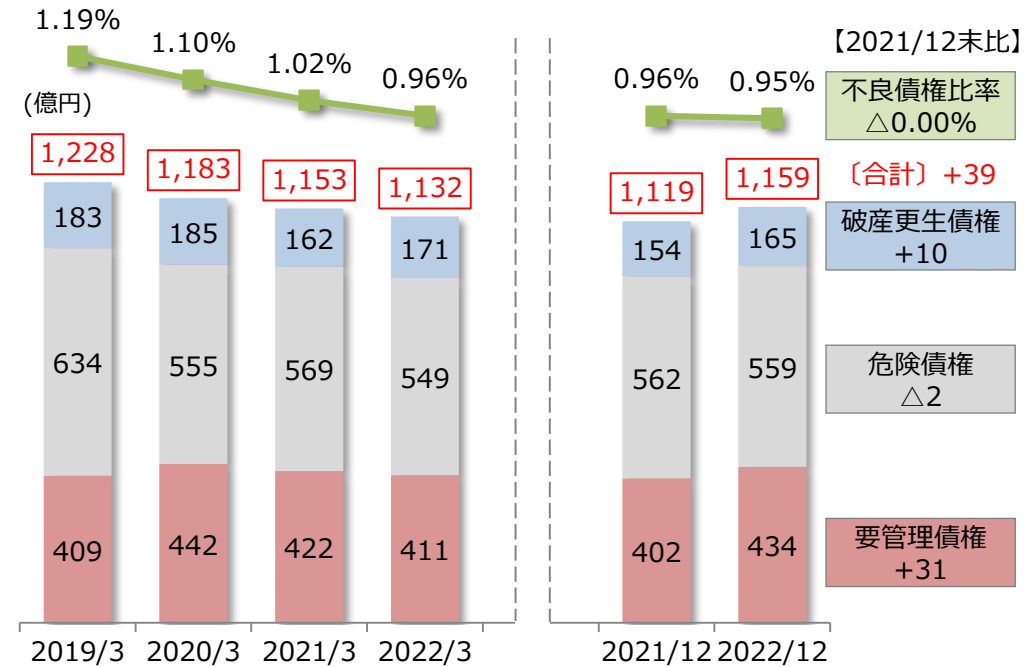
(億円)	2022/3	2023/3	前年同期比
	1-3Q	1-3Q	
与信関係費用 (△)	27	△ 33	△ 61
一般貸倒引当金純繰入額 (△)	3	△ 35	△ 39
不良債権処理額 (△)	23	1	△ 22
貸出金償却・個別貸倒引当金純繰入額等 (△)	36	30	△ 6
うち個別貸倒引当金純繰入額 (△)	9	14	5
うち新規発生 (△)	32	32	0
うち既先 (△)	8	4	△ 4
うち回収等	4	7	3
償却債権取立益	12	28	15
与信費用比率 (△)	3bp	△3bp	△6bp

※本表では、前年との比較上、貸倒引当金戻入益を一般貸倒引当金純繰入額及び個別貸倒引当金純繰入額に分けて表示

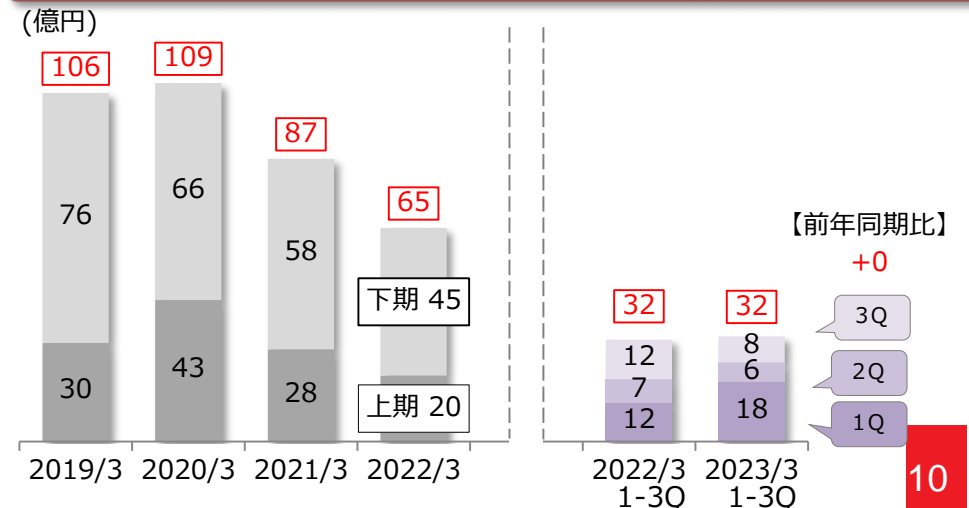
## 与信関係費用(△) 推移



## 金融再生法開示債権・不良債権比率



## 不良債権 新規発生



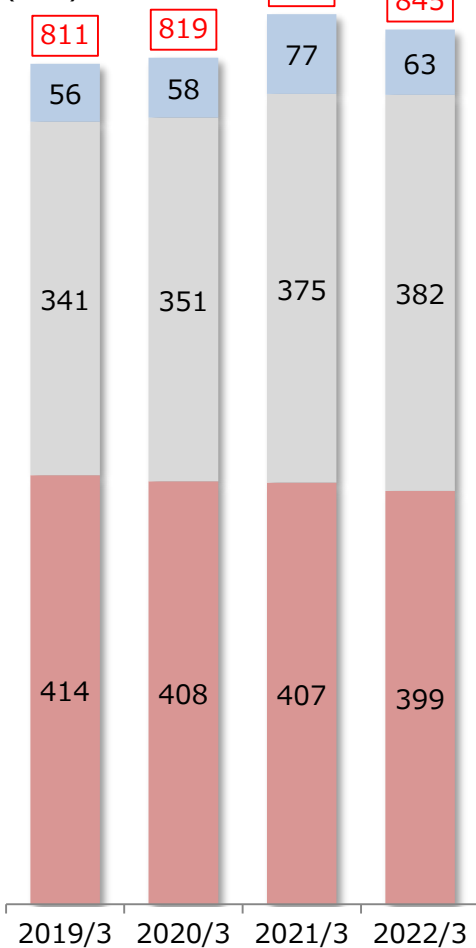
# 経費・自己資本比率

## 経費・OHR

※ OHR：経費÷（業務純益－債券関係損益等＋一般貸倒引当金純繰入額＋経費）

54.78% 54.61% 55.00% 52.02%

(億円)



51.34% 46.61%

【前年同期比】

OHR  
△4.72%

〔合計〕△3.6%

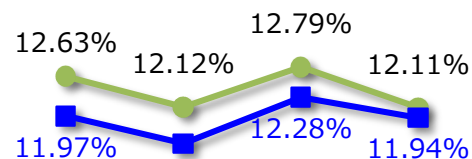
税金  
△15.3%

物件費  
△3.8%

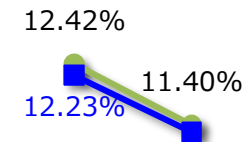
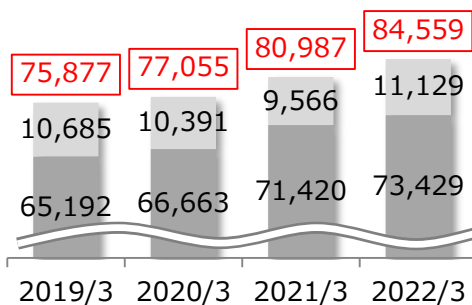
人件費  
△1.2%

2022/3 2023/3  
1-3Q 1-3Q

## 連結 自己資本比率・リスクアセット額



(億円)



【2021/12末比】

総自己資本比率  
△1.02%

CET1比率  
△0.95%

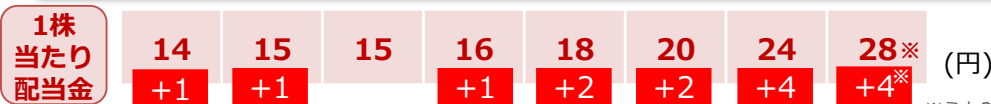
リスクアセット  
合計額 +3.9%

フロア調整

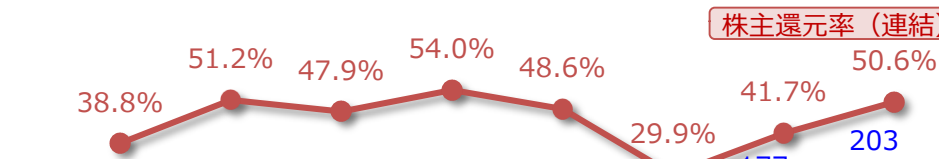
リスクアセット  
〔フロア調整  
加算前〕

2021/12 2022/12

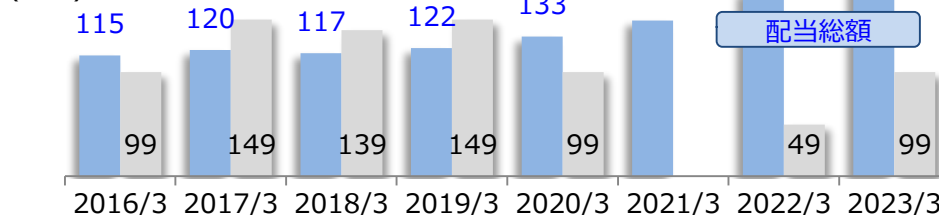
## 株主配当



※うち2円は記念配当



(億円)



## 補足資料

# 円金利上昇の影響

評価損益悪化には金利リスクを削減して対応、中長期的には資金利益改善へ

## 円金利リスク削減オペレーション明細

以下オペレーションを組み合わせることで金利リスクを削減

債券現物  
売却

債券先物  
売り建て

債券ベアファンド  
購入

## 円債 金利期間別感応度…①

※1.それぞれの金利期間において10bp上昇した場合の評価損益の変化額

※2.今回より、円債感応度に債券先物の期間別感応度を追加

(億円)

	～1年	1年超～ 3年	3年超～ 5年	5年超～ 7年	7年超～ 10年	10年超	計
2022/9末	▲0	▲6	▲4	▲6	▲15	▲14	▲47
2022/12末	▲1	▲6	▲4	▲5	▲12	▲13	▲44

## 円建投信 金利感応度…②

合計 +3億円 (2022/9末時点 +2億円)

※債券ベアファンドの保有により、金利上昇で評価損益は改善する。

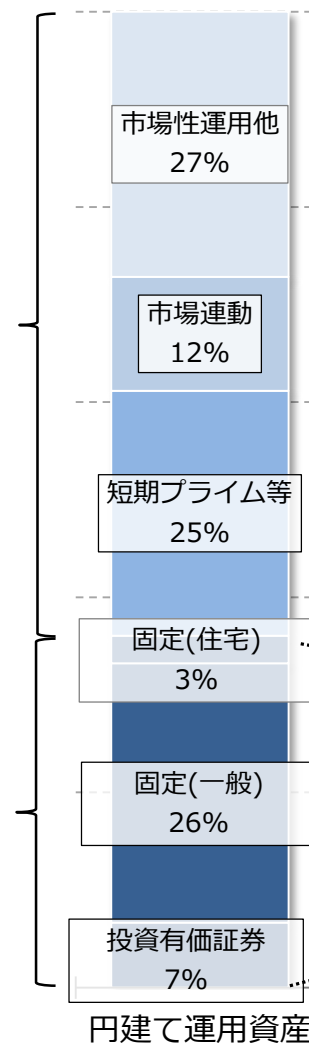
10BPV合計 (①+②)

合計 ▲41億円

## 日銀金融政策変更の資金利益への影響

変動金利

固定金利



12月のYCC枠組み変更による  
将来的な資金利益増加見込額

(2026/3期の資金利益への影響額)

※金融政策変更直後のレートを基準に試算

合計 +40億円

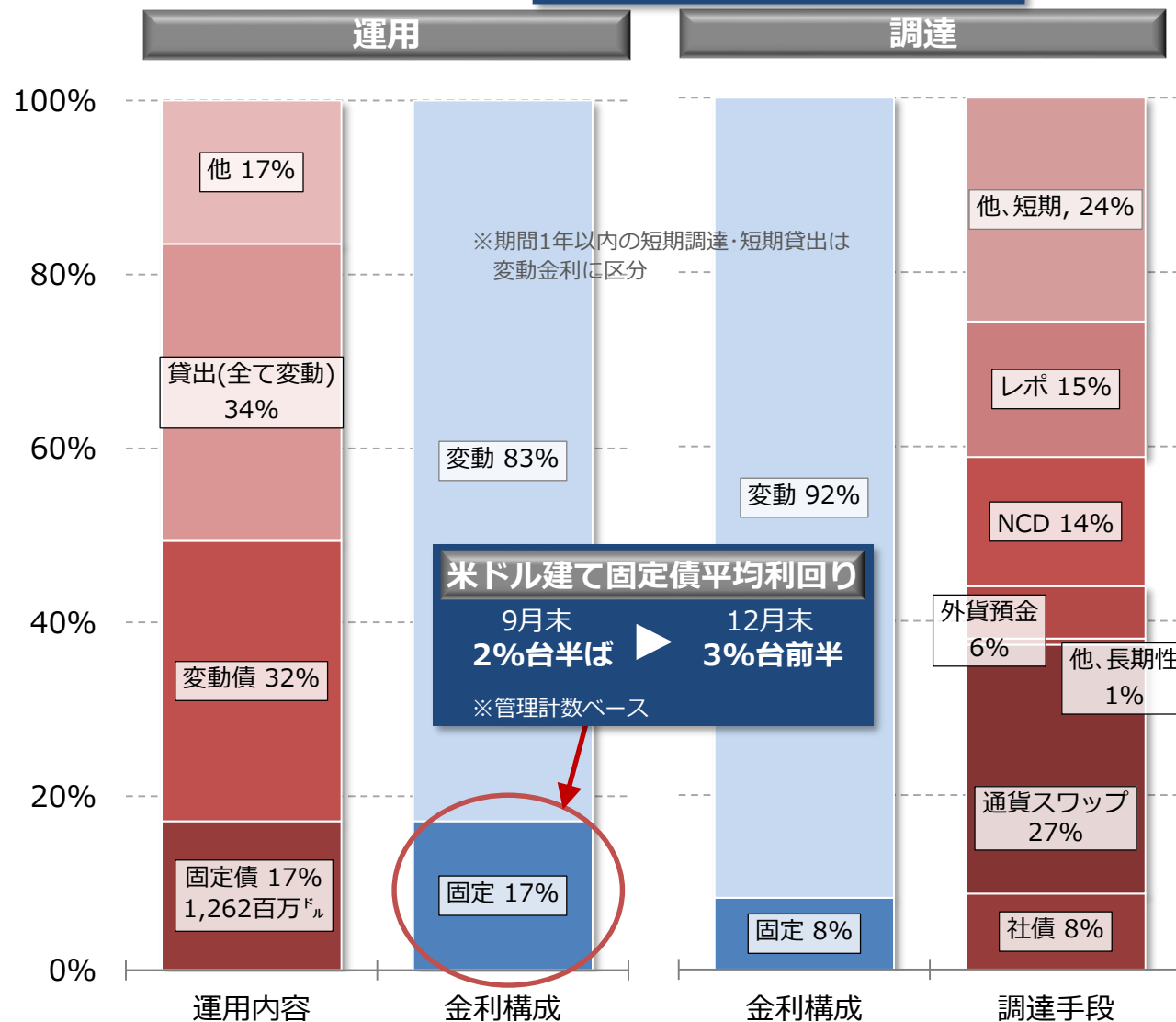
(億円)	
内訳	増加額
一般貸出	29
住宅ローン	1
債券	10
<b>合計</b>	<b>40</b>

# 外貨金利上昇の影響

## ポートフォリオ入替による改善を継続

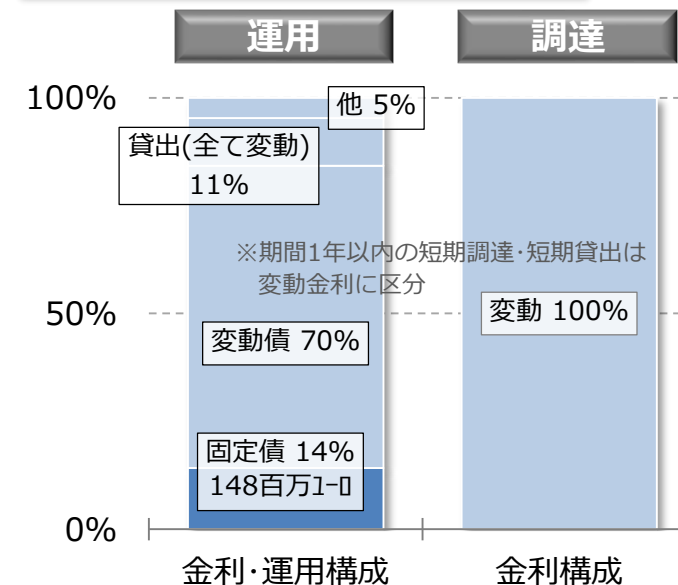
### 米ドル 運用・調達構造

2022/12末残 **7,371百万ドル**



### ユーロ 運用・調達構造

2022/12末残 **1,042百万円**



### 外貨金利上昇の既存貸出・有価証券への影響 (概算)

※米ドル・ユーロ以外の外貨建て運用資産は227百万ドル相当

[金利が平行に10bp上昇した場合の影響]  
 ※米ドル外貨預金金利は70%程度追随する前提で試算。  
 ※金利上昇に伴う信用リスクへの影響は織り込まず。

(億円)	米ドル	ユーロ
資金利益	▲0.7	▲0.1
評価損益	▲13.6	▲2.6
外債	▲8.2	▲1.0
株式・投信	▲5.4	▲1.6

本資料に関するご意見、ご感想、お問い合わせは  
下記 I R 担当までお願いいたします。

株式会社 千葉銀行経営企画部（I R 担当）

Tel : 043-301-8459

Fax: 043-242-9121

E-Mail: [ir@chibabank.co.jp](mailto:ir@chibabank.co.jp)

本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。

本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。本資料には、将来の業績にかかる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。